



2005 ITU International Triathlon Event Tokyo

2005JTU トライアスロン日本選手権東京港大会

2005 NTT Triathlon Japan Cup 6th Stage

NTT トライアスロンジャパンカップ第6戦

23 October 2005



庭田清美、平野司が日本選手権優勝。上田藍、細田雄一はシリーズチャンピオンに

2005NTT トライアスロンジャパンカップ第6戦東京港大会は、第11回トライアスロン日本選手権として10月23日(日)、東京都臨海副都心お台場周辺特設コースで行われた。

日本選手権とNTT トライアスロンジャパンカップシリーズの二つのビッグタイトルを決するレースは、午前8時10分に女子がスタートした。序盤から古谷あかね(トヨタ車体)がぐんぐんと後続を引き離すと、19分33秒でスイムフィニッシュ。2番手は太田麻衣子(東海大学)が49秒遅れ。以下1分以内に20名が続いた。バイクに入ると、2週目には忽那静香(日東紅茶 TEAM KEN'S A&A)、田中敬子(チームゴーヤー・スカイタワー)、関根明子(NTT 東日本・NTT 西日本)、高木美里(湘南ベルマーレ)、中西真知子(NTT 東日本・NTT 西日本)、庭田清美(アシックス・ザバス)ら10名が第1集団を形成した。期待の上田藍(グリーンタワー・稲毛 ITC)は集団に入れず、しばらく単独走行をせざるを得なかった。ランに入って、関根、庭田、中西が飛び出し、序盤からデッドヒートが開始されたが、すぐに関根と庭田が前に出た。二人の併走は続いたが、2周目の後半で庭田が前に出ると関根はつけず、そのまま庭田がリードを拓けて2度目の日本選手権優勝を果たした。レース後庭田は、「2周目の緩やかなのぼりで関根選手のスピードが落ちたと思ったので、思い切って前に出た」と、勝負所を逃さないベテランの走りを語った。2位は関根、3位には忽那が入った。

午前10時30分スタートの男子は、好調の田山寛豪(チームテイケイ)が平野司(関西大学)を押さえてスイムをトップフィニッシュ。ラウル・コルドバ(スペイン)、細田雄一(グリーンタワー・稲毛 ITC)、山本良介(トヨタ車体)、山本淳一(K's-Y・稲毛 ITC)が続く。バイクでは早々とちぎれたコルドバを置いて、細田、山本淳一、山本良介、平野、田山の5名が逃げ、後続に2分25秒の差をつけてランへと移った。ランでは田山、細田、平野が先行したが、田山が抜け出した。それを追った平野は3周目、田山のスピードが落ちたところで一気に前へ出ると快走し、初優勝を飾った。2位は田山、3位は細田だった。平野は、「前週にアイアンマンレースに出ている田山選手に負けるわけにはいかなかった」と、意地のかかった勝負であったことを語った。

このレースの結果、上田が6位となり、3位に入った細田が2005年NTT トライアスロンジャパンカップシリーズを制覇した。上田は、「バイクで遅れて、選手権が取れないなら是が非でもジャパンカップを、という思いで走った」とコメント。細田は、「選手権優勝はできなかったけれど、意外にすっきりしています」と、初タイトル獲得を素直に喜んでいた。

なお、レースの様子はフォトギャラリーでご覧いただけます。

